

---

## 参加者からの質問

Q1. 日本ではしばしば、クリニックは患者が持ち込んだ精子を使ってきました。例えば夫の兄弟や父親、友人の精子などです。デンマークでもビジネスではなく、そのようなプライベートな解決方法は実施されていきましたか、多勢を占めていましたか？

Answer: デンマークでは、2012 年以降、医師による非匿名のドナーを使用することが可能になりました。ただし、夫の父親の精子を使用するなど、近すぎる家族の精子を使用することはできません。精子の質の検査は、性病や他の遺伝病を防ぐために重要です。

Q2 精子提供に際するスクリーニング検査の結果はドナーに告知されるのでしょうか？  
その際、二次的所見(重篤な遺伝性疾患等)はどのように扱うのでしょうか？

Answer: 民間の精子バンクでは、遺伝カウンセラーが業務に携わっています。ドナーの重篤な遺伝性疾患や性病は、提供前にスクリーニングによって発見されるとは限りません。例えば、発表の中で触れた NF1 のケースでは、ドナーは、後から自分に遺伝子疾患があることを知らされました。これは、両親からの遺伝ではなく、スクリーニング検査でも発見されなかった稀なケースです。提供に対する報酬は、精子の質にも左右されます。そのため、精子の質に関する情報は重要です。ドナーは常に自分の精子の質について知らされることとなります。

Q3 医師会が自らの経済的利益について明確に語った公式発言はありますか？あるいは Stine さんのインタビューではありますか？

Answer: 私は 2001 年にフィールドワークを開始し、2012 年と 2013 年に公立と私立のクリニックで働きました。もちろん、ある医師に 10 年後にもインタビューして追跡調査しました。考え方が変わっていました。現在は、精子をもらう人の 50% は独身女性、30% はレズビアンのカップルだということです。治療には莫大なお金がかかります。

Q4 日本では AID で子を持つ事に「エゴだ」「子供が可哀想」という人もいます。  
デンマークは AID 分野で日本より遥かに進んでいると思いますが、もうこういう意見を言う人は少数派なのでしょうか？  
デンマークの人達はどれくらい AID について明るいんですか？

Answer: 私の知る限り、デンマークの人々が DI をネガティブに考えているか、ポジティブに考えているかという調査結果は見たことがありません。社会における人々の認識は、メディアがそれをどのように取り上げるかにかかっています。何年か前に、文化省の女性大臣で

独身の方がDIを利用して子供を産んだことがあり、メディアが注目していました。政党の中には批判的な人もいましたが、首相は「まったく問題ない」と言っていました。今でも議論されています。

- Q5 日本の医療者は、商業的精子バンクを利用したヘテロカップルが、子どもにテリング(告知)しないのではないかと心配しています。それは商業的精子バンクを利用した場合、患者は、テリングの重要性についてカウンセラーから習う機会を得られないからです。デンマークの商業的精子バンクでは、子どもが自分のルーツを知る権利を守るために、積極的取組をしていますか？

Answer: とてもいい質問ですね。私の知る限り、デンマークではほとんどの親が子どもにどのように妊娠したのかについて事実を教えていません。プライベートな問題なので、いまだにその是非は議論されています。スウェーデンでは、ドナーの匿名性を廃止する法律が施行された後も、ほとんどの親が子どもに話していません。しかし、多くの心理社会学的研究が、嘘が家族関係に悪影響を及ぼすことを示しています。ですから、親になることを希望している人には、伝えることの重要性についてもっと教育する必要があると思いますし、ドナーの匿名性は廃止されるべきだと思います。

- Q6 デンマークでは精子提供の実践が他の EU 諸国に比べて進んでいたとのことでした。デンマークでは、外貨獲得のためにこのような治療を外国人に提供することを推進する動きはあったのでしょうか？

Answer: 隣国スウェーデンが80年代に法律を改正し、非匿名での提供しか認めないようなことで、デンマークでは匿名のドナーによる治療が可能であることが知られるようになりました。さらに、デンマークの民間クリニックでは、スウェーデンのような待ち時間がありません。1997年から2007年にかけて、医師は独身女性やレズビアンを治療することが許されていませんでしたが、レズビアンのカップルや独身女性を治療の対象とした助産院が開設されました。このうわさがヨーロッパ中に広まり、数年後にはこうした助産院は海外のレズビアンカップルや独身女性の顧客に対応するようになりました。その後、民間の不妊治療クリニックもレズビアンカップルや独身女性への提供に参入しています。私は、デンマークのプライベートクリニックがもともと国際的なマーケットをターゲットにしていなかったことに意外性を感じます。

- Q7 先ほどの家族からの提供についてお話しされていましたが、精子提供者として、祖父は除外されたとありましたが、きょうだい、OKなのでしょう。また、なぜ、祖父はだめになったのでしょうか？

Answer: これはいい質問ですね。私はこれについて、きちんとした説明を見たことはありませんが、法律の立案者たちは親族間のトラブルが多すぎると考えたのではないのでしょうか。

Q8 デンマークでは精子提供の実践が他の EU 諸国に比べて進んでいたとのことでした。デンマークでは、外貨獲得のためにこのような治療を外国人に提供することを推進する動きはあったのでしょうか？

Answer: なぜデンマークが民間の精子バンクが出現する国になったのか、それには様々な事情があると思います。精子バンクはもちろん精子を売りたいですし、デンマークは小さい国で、ずっとグローバルに活動してきました。先に述べたように、スペインでの卵子提供のように、民間の不妊治療クリニックがもっと国際的な市場をターゲットにしていれば、状況はちがったかもしれません。でもそうしなかったことに、私は驚きを感じています。

Q9 遺伝子検査について、常染色体潜性遺伝病に関してはドナーとレシピエントの両方の遺伝子の組み合わせになるとと思いますが、遺伝子検査はどの範囲まで行われているのでしょうか。妊娠する女性の側も遺伝子検査をするのでしょうか？

Answer: 最近までデンマークでの遺伝子検査は、ある集団の中で非常によく知られた遺伝性疾患、嚢胞性線維症に関連してのみ行われていました。でも今は、デンマークの精子バンクは、輸出先の国のスクリーニング基準に合わせて検査します。つまり、ドナーは異なる基準のもとスクリーニングされることになります。現在、精子バンクは、治療中の女性とドナーの遺伝子検査を組み合わせた遺伝子マッチングも提供し始めています。でもこれは、もっと費用が高くなります。

IGS オンラインセミナー(生殖領域)  
2021年7月2日(金)開催  
商業的精子バンクに関する問題—倫理・ジェンダー・社会的側面から—  
Issues Regarding Commercial Sperm Banks from the Ethical, Gender and Social Perspective



---

## 参加者からの感想

1. 精子提供を誰が受けられるか、精子提供者の情報が開示をめぐる医師と助産師運営のクリニックと民間企業のポリティクスについて興味深い報告をありがとうございました。また、安全性が医療化をすすめる論理として使われることも日本でも出産の医療化の際に生じました。
2. Thank you for the great talk, Stine! I think it is great to put the subversive practices of LGBT group in the history of sperm banking. I wonder whether the LGBT group has developed their own ethical principle or guideline, beyond the EU, or national regulation.
3. Dear Stine, thank you very much for this very interesting talk!  
From your talk, it seems that the sperm bank at the beginning actually brought relatively freedom for self-insemination users; by the time went on, because of some ethic issues happened in other countries, the regulations in Denmark become more restricted toward the users (consumers), institutions (midwives and practitioners) and even more 'medicalized' / 'centralized' based on 'ethic' concerns.
4. Thank you Yukari, and IGS OCHA organizers and staff to have this important event. And thank you Stine to present your important work. DI and sperm banking grow in East Asia so we need to discuss more in the future! (And hi, to all the Japanese colleagues. Nice to see you again in the internet.)
5. Thank you for interesting talk.  
I'm trying to become a genetic counselor. I have never heard about genetic counselor work for sperm banks. It was so interesting and genetic counselor in Japan will also play such a role. As a student of genetic counselor, I'd like to learn more about reproductive treatment. Sorry for humble English. Thank you.
6. とても刺激的なお話でした。ありがとうございました。
7. 大変素晴らしいセミナーありがとうございました。大変興味深く、もっとお伺いしたかったです。次回のセミナーにも参加させていただけたらと思っております。
8. とても興味深い内容で、デンマークの状況がわかり有用でした。通訳の方の発話が聞き取りやすく、大変よかったです。ありがとうございました。
9. 今迄に、あまり聞いたことのない議論を聞かせて頂きました。ヨーロッパは意外に保守的だと

言われていましたが、ここでも、シングルやレスビアンに対して、なかなか心を開こうとしないことが分かりました。でも、いったん、決めると変化が早いので、ここでもその傾向はあると思います。それに期待しています。興味深いお話を有難うございます。また、正確な通訳にも感謝します。

10. デンマークの「先進的な」精子バンクや生殖医療についてのお話が聞けてよかったと思います。日本でも議論になりそうなことでもまだきちんと議論されていないことが多いので、参考になると思います。

11. 今日は貴重なお話をありがとうございました。知人の研究内容に関連しているので、自分も勉強しようと参加しました。とても面白くて、食い入るように聞きました。どのカップルに精子提供をするのか、政府が線引きをすると考えるとぞっとします。今の日本だとお話にならないと思います。エイドリアン先生のご研究をもっと知りたいと思いました。ありがとうございました。

12. 素晴らしい発表、本当にありがとうございました。

13. デンマークの精子バンクにて日本事業を担当している者です。本日は、自分の会社やそれを取り巻く環境に関して客観的な情報を得ることができる、大変貴重な機会となりました。ありがとうございました。

最後の質問への回答として補足させていただきたいことがございます。弊社を始めとするヨーロッパの精子バンクは現在医療機関への供給のみを行っており、患者さんへの説明やカウンセリングは各医療機関が行なっています。国にもよりますが、カウンセリングの中で、告知が促されるケースが大半であり、また、ノルウェーでは今年から親から子への告知を法律にて義務付けています(罰則規定はありません)。

一方で、日本で弊社を利用する場合は残念ながら日産婦のガイドライン違反となり、医療機関で必ずしも適切なカウンセリングが受けられる場合ばかりではありません。しかしながら、利用する方にはオンラインセミナーの動画を観ていただくようにしており、その中では告知の重要性を訴えるとともに、出自を知る権利についても考えていただくようにしております。弊社のHPにも「子どもたちのために」というセクションを用意し、告知やドナーチルドレンに関する情報を提供し、治療開始前に読んでいただくようにしております。

日本のご利用者様(治療中の方及び妊娠・出産した方)にアンケートを取ったところ、76%の方が告知する予定、15%の方が検討中と回答し、告知しないと答えたのはたった8%でした。親たちの多くは、ドナーがどのような人物か知ったうえで選択し、ドナーの性格や特技などをお子さんに伝えられることを安心材料だと考えております。告知の意向を持つ親の比率は、国内で行われている匿名のAIDを受けた親よりも高いです。

今後も、親となる人々はもちろんのこと、生まれる子どもたちの幸福を第一に考え、日本の価値

観や文化にも受け入れられる形にて、日本進出を目指していきたいと思っております。どうかこの点を知っていただけたらと思い、記入させていただきました。

14. Thank you all for organizing the inspiring presentation.

15. 興味深いお話、大変ありがとうございました。フランスでも先日生殖医療に関する動きがありました。そちらとも併せて、今後の動向を注視していきたいと思えます。

16. 面白かったです。

最初の方はお話が難しいかなと思ったんですが、話が進んでいくうちにとても興味深く聞きました。

倫理面だけでなく、政治的な攻防や商業的な競合もあると分かりました。

17. 日本とは相当に違った状況を伺って、あらためていろいろな角度から考える必要を感じました。企画いただきありがとうございました。

18. Thank you very much for organizing this talk. Look forward to the next event!

19. Thank you for organising this great seminar! Looking forward to upcoming seminars!

20. It was a good lecture to understand the current situation of sperm banks. Thank you.

21. 遺伝カウンセラーを目指す学生としてとても興味深い内容でした。

精子バンクで働くカウンセラーの存在について初めて知ると共に、今後日本のカウンセラーにもこのような役割が求められるのではないかと思います。

また、出生する子どもに関する倫理的課題にと共に、シングル女性やレズビアンカップルといったマイノリティへの差別についても考慮する必要性を感じました。恥ずかしながら、彼女たちマイノリティにここまでの差別があったことを詳しく知りませんでした。このような差別に対し、心理社会的な研究のエビデンスによる否定があったことは心強かったです。同時に、被差別者はここまでコストをかけてエビデンスを出さなければ差別を受け続けるのか、という思いも持ちました。

生殖補助医療についてさらに学んでいきたいと思えます。

本日はありがとうございました。

22. 自宅受精とか DIY とか、驚きましたが、法的に許されていなければ、何が何でも子どもが欲しければ、選択肢になるのもわからなくはないなと思えました。

23. 勉強になりました。どうもありがとうございました。今後もよろしく願いいたします。

24. 大変、興味深く拝聴しました。生れてきた子どもの視点からの次のフォーラムに期待しています。

また、EU で流通している、DIY の精子の料金（質によって違うという話でしたが）を知りたく思いました。DHL で日本に運ばれ、自宅で受精できるのであれば日本でも増えているのではないのでしょうか？

25. デンマークでは日本よりも議論が広がっている感じがしましたが、多様な意見があることもよくわかりました。シングルやレズビアンの方の商業的精子バンクの利用が多いことに驚きましたが、日本でもいずれ同じ道を歩むことになるかもしれません。大変興味深いお話を伺い感謝いたします。

26. 貴重なお話を有難うございました。デンマークの精子バンクの位置づけや歴史の変遷、マスコミの捉え方など理解できました。レズビアン・シングル女性への治療拒否が社会的運動にもなり、逆に社会へ訴えていく活動にもなったというお話が印象的でした。質問にも入れましたが、「祖父」からの提供は認められないというお話について、詳細に知りたいと思いました。私は、親族内提供を認めたとしても、夫の父親からの提供については反対の立場です。なぜなら子どもが世代をまたがる提供による精神的混乱を防ぎたいからです。その辺についてのデンマークの状況を知りたいと思いました。有難うございました。

27. とても関心のあるテーマでした。このようなテーマでの研修会の開催ありがとうございました。

28. 親が子どもにテリングを前向きにできる社会的環境を整えることが、親子や家族にとって一番必要なことだと思いました。世界的に同じ課題を抱えており、商業的精子バンクが存在する現状では、国境を越えて子どもの為の議論を活発にし課題解決への道を探る義務があると思います。本日はありがとうございました。

29. 貴重なセミナーを開催いただきありがとうございました。

30. AID 治療に従事しています。歴史や実情など、非常に勉強になりました。ありがとうございました。

31. とても勉強になるセミナーでした。Stein 先生や企画をしていただいた先生方、ありがとうございました。日本ではあまり想像できない段階まで進んでいることに驚きと、研究の中で negotiation をめぐる過程やポリティクスに着目された視点が興味深かったです。非匿名ドナーのプロフィール開示、子への告知と出自を知る権利(ドナーとの接触など)に関心あるため、また機会



があればいろいろお伺いしてみたいです。

32. 貴重なセミナーをありがとうございました。SNSなどの個人間やり取りをするくらいならば、バンクの方がよいのではとわたしも思いますが、一方バンクにはバンクの問題もあり、商業化することでの良い点、悪い点、など何が一番いいのか、知れば知るほど悩んでしまいます。またぜひ勉強の機会をいただければと思います。ありがとうございました。ご準備いただいたみなさんお疲れさまでした。

33. 英語を逐語訳していて少し時間をもったいないなと感じました。一つの ZOOM で英語と日本語とを選べるシステムもあるようなので、そちらを導入してはどうかと思います。

34. 本日は貴重な経験やご報告を拝聴しました。誠にありがとうございました。

また 17 時以前から入室する為に何度も努力し、行動しておりましたが、上手く行かなかったことでは、恐縮でございます。焦って失礼いたしました。お話を聞いている中で、助産師さんが 1999 年ストーククリニックを開設した。と記憶しております。この場でシングル女性とレズビアンカップルに精子提供を行った。女性を中心とし、リラックスできるケアを営んでいた。ここで子どもへ告知する匿名性の規制がなかったと記憶しております。これは良い記憶として心に残りました。また、あり得ると考えます自宅授精では、「女性に子育て能力があるか、あるいは、ないのか」これを判断するための基準は何でしょうか。先ず年齢を考察することは必要でしょうね。例えば、12 歳の初経で妊娠出産することは、かなり非現実的だと思います。天命でない妊娠ならば、とりわけ親になる準備性を考察することは必要な条件だと考えます。以上です。本日は重ねてお礼申し上げます。感謝。ありがとうございました。

